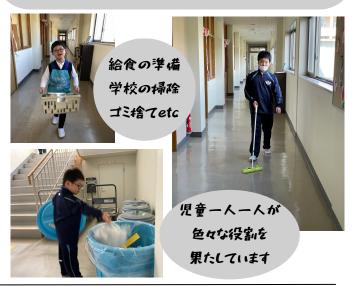
進路だより

vol.02

キャリア教育の実践 小学部編

キャリア教育は「子どもたちが夢や憧れをもって、 なりたい自分に近づく」ための教育です。

ここでは、本校のキャリア教育の実践について紹介していきます。



校長先生は就労支援のエキスパートです。 「教えて!校長先生 | **2**

今回は、障害がある方の社会参加に関する制度を紹介します。

日本では、法律により企業が障害のある方を雇用す ることが義務付けられています。この法定雇用率は、 2023年4月現在で2.3%、3年後の2026年4月からは 2.7%の割合となります。国及び地方公共団体ではより 高い割合が定められています。秋田県でも、障害があ る人の雇用が推進されてきており、出先で本校の卒業 生の先輩が働いている様子を見ることがあります。現 状、まだまだ全ての企業がこの割合を達成できていま せん。しかし、近年では、企業において年齢・性別・ 人種などの多様性(ダイバーシティ)の保証の考え方 の浸透、企業として社会に対する責任を確実に果たす こと (CSR) 、持続可能な開発目標 (SDGs) への賛 同など、障害のある児童生徒の社会参加を支える機運 が高まってきている状況が伺われます。これらの機運 が障害がある児童生徒の社会参加の追い風になってく れることを期待しています。

※「教えて!校長先生」は、vol.4 vol.6 vol.9 vol.12 でお伝えしていきます。

将来の生活を目指して小学部段階からできること ~誰かのために役割を果たす~

「学校卒業後の生活に向けて小学部段階からやっておく ことは何ですか?」という類の質問を受けることがありま す。「生活する力」や「働く力」を身に付けるために、自 分の身の回りのことを自分でやろうとしたり、自分ででき るようになったりすることはもちろん大切な取り組みで す。一方で、誰かのために「役割」を果たそうとすること も将来の生活に向けて大切な力の一つです。「働く」と は、「傍(はた)を楽にする」ことと言われています。自 分の行為が周りの人のためになったと感じられるよう、小 学部では、日頃から様々な場面において「役割」を果たす 取組をしています。朝の会で活動毎に役割分担をしてそれ ぞれの役割を果たしたり、給食後にゴミ箱に溜まったゴミ を集積場に捨てに行ったりという具合です。御家庭でも、 食事した食器のどれかを下膳したり、玄関のスリッパをき れいに並べたりなど、家族の一員としてちょっとした役割 を果たすところから始められます。そして、子どもが自分 の役割を果たしたときには「ありがとう!助かったよ」と 伝えてみてください。

最後に、朝の会や集会のときに、前に出て役割を果たす人とともに、それに注目したり、その人のために話を聞こうとしたりすることも集団の中で「役割」を果たすと捉えられます。生活の中に散りばめられている様々な「役割」に着目してみませんか? (小学部主事 後松)

保護者からのQ&A

保護者からのQ&Aのコーナーでは、保護者の皆様からの進路に関する御質問にお答えしていきます!右のQRコードを読み込み、気軽に御質問ください。



QRコードを 読み込んでください



保護者から卒業後の就業先や就業時間、 賃金についての御質問がありました。 次号でお伝えしていきます! 御質問ありがとうございました!

